

山行報告書

作成:2013年8月18日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	三ノ沢[中央アルプス・木曾]	目的[方法]	2013 夏山山行
期間	2013年8月13日(火)、14日(水)	形態	沢登り・沢中泊
参加人数	2人		

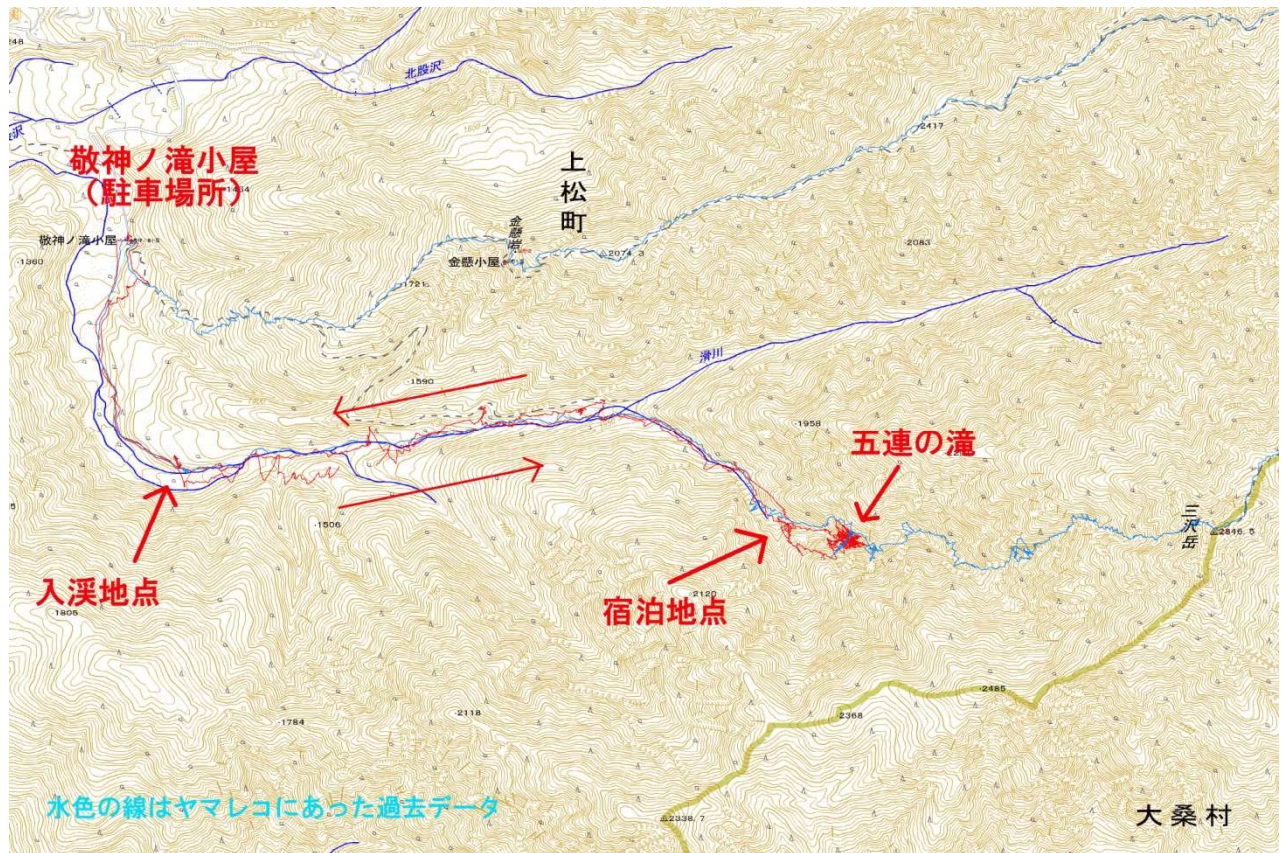
行動記録:

8/13(火) 岡崎IC(0520)=1:50=中津川 IC(0710)=0:50= 上松・敬神の滝小屋(0800,0815)-0:45-入渓地点[作業道路終点](0900,0915)-1:55-三ノ沢分岐(1110)-0:35-五連の滝(1145)-4:00-宿泊地(1545)

8/14(水) 起床(0530) 宿泊地出発(0650)-0:40-三ノ沢分岐(0730)-2:40-入渓地点[作業道路終点](1010,1025)-0:15-敬神の滝小屋(1040,1100)=0:20= ねざめホテル(1120,1210)=1:30= 中津川 IC(1300)=2:00= 岡崎IC(1500)

天気:快晴 微風 気温:15-20℃

概念図



- ・岡崎IC・中津川IC間: 行き1400円、帰り1950円 ねざめホテル温泉500円
- ・敬神ノ滝小屋から先は登山道に入らず、川沿いの作業道を堰堤のある終点まで歩き入渓する。今回は登山道を進んでしまい、正しい道に戻るのに苦労した。入渓地点から三ノ沢分岐まで顕著な滝は無い。分岐以降は直ぐに3m程度の簡単な滝が2つ、そのまま進むと五連の滝が見えてくる。
- ・五連の滝の内、3つ目の滝(4m程度)で直登せずに右岸を高巻くことにしたものの、斜面が急で岩は脆く、登るのにかなり苦労した。気付くと50m近くも登っていて、まともな支点も無いので引き返すのが難しい状態に。後から振り返ると、ずっと低い場所でトラバースすべきだったのが見過ごしていたらしい。Yさんがピトンを2つ打ってロープ確保しつつ垂直の岩をよじ登り、ようやくトラバース可能な位置まで到達した。後、ロープ確保しつつ上流側に移動、懸垂下降数度を経て、五連の滝で最後の滝(15m)の直前に着地。本来はこの15m滝の向こう側に着地するべきだったが、良い巻き道を見つめることができなかった。最後の滝を超えるため脇にある崖を登れないか暫く調べたが、岩が非常に脆いために直登できる場所を見つめることができない。既に予定時間を大幅に超過しているので、このまま進むのは無理と判断、引き返すことにした。
- 2日目は三ノ沢分岐北側にある登山道から帰ろうと、GPSを睨みつつ尾根道に合流する登山道を探したがどこにも見当たらなかった。完全に廃道になっている？普通に川沿いに歩いた方が早く安全だろう。
- ・今回の山行では高巻きの難しさ、ルートファインディングの難しさなどを実感できた。また、良く行く鈴鹿の沢とは困難の度合いが結構違うことにも驚いた。

参加者名

